

愛媛県

(今治地区)

天敵を利用したハウス栽培いちごの 総合防除体系の実証

【1. 概要】

- ・ハウスのいちご栽培において、カブリダニを活用し、ハダニ類の効果的な防除を実施
- ・管内導入面積は2.3ha。平成23年度比575%増で、産地での普及率は20%
- ・普及促進のため、研修資料を作成し、各JA単位での講習会を開催
(平成27年度は8回)

【2. 実践内容】

(1) 取り組みの背景、経緯

- ・平成26年9月定植のハウス栽培いちご(品種:さちのか)において、今治支局産地育成室が実証
- ・いちごの重要害虫であるハダニ類は、化学農薬防除への依存度が高く、薬剤抵抗性の発達がみられている。この解決のため、天敵利用によるIPM技術を導入(図1)

(2) 普及拡大に向けたポイント、成功要因

- ・こまめなほ場巡回により、天敵の定着状況等を伝えることで天敵の有効性が実感され、ハダニ被害が増加する不安感を解消。(写真1)
- ・ほ場観察の重要性を現地並びに講習会にて指導

【3. IPMの推進による効果、得られた経験】

- ・天敵利用の関心が高まり、導入面積が増加(H23:0.4ha→H27:2.3ha)している
- ・ハダニ類の発生を天敵利用で十分制御できることが農家に実感されてきた
- ・化学農薬の散布回数を減少(8回→4回へ)させることができた

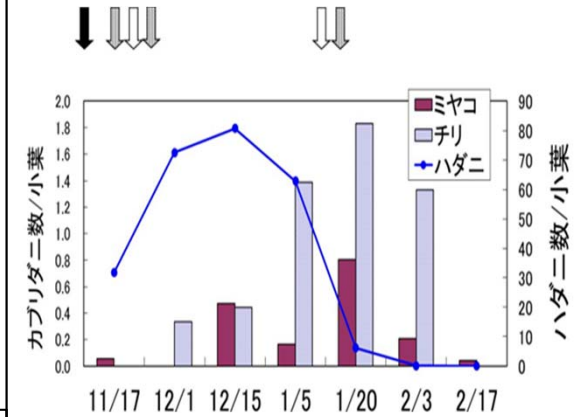


図1. カブリダニ類放飼によるハダニ類の防除効果

↓:ミヤコカブリダニ ↓:チリカブリダニ ↓:スターマイトフロアブル

※慣行栽培を実施していた時に比べて、ハダニの発生は低く制御できている。



図2. こまめなほ場巡回の実施

【問い合わせ先】
東予地方局今治支局
産地育成室
電話：0898-23-2570